

# 令和4年 駒ヶ根市教育委員会 第7回定例会 次第

令和4年6月28日(火) 午後3時30分

駒ヶ根市役所 南庁舎2階 大会議室

- 1 開 会
- 2 教育長報告 P 1
- 3 事業報告及び事業計画 P 3
  - ・ 定例教育委員会 7月29日(木) 午後2時 南庁舎2階 大会議室
  - ・ 総合教育会議 7月29日(木) 午後3時30分 南庁舎2階 大会議室
- 4 審議案件
  - 議案第1号 学校運営協議会委員の任命について P 5
  - 議案第2号 補正予算について P 6
- 5 協議事項
- 6 報告事項
  - (1) 保育料の収納状況について P 7
  - (2) 学校給食費収納状況について P 8
  - (3) 行事共催等承認申請の専決処分について P 9
- 7 その他
  - (1) 市教職員夏期研修会について P 10
  - (2) 上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会並びに研修会について P 11  
7月4日(月) 13時00分～ 宮田村村民会館
  - (3) 市議会で取り上げられた教育委員会に関わる質疑 P 12
- 8 閉 会

## 『西日せし そこ動かせぬ ものばかり』 波多野爽波

意味：西日が部屋にさしている。西日は強烈だから大切なものに日が当たらないようにしようと思うが、どっこいそこは動かせないものばかりだ。



- 夏の西日は暑いばかりではなく、大事な家具や本などを日焼けさせてしまう。少しでも当たらないようにと動かそうとするが、見る端から動かせないものばかりと分かる。何ということだろうと苦笑いしているのか。

★教室にも動かせない大事なものがたくさんある。整理整頓も大事だが、何を捨てようかではなく、残さなければいけないものは何か、子どもの生活に支障になるものはどれか、子どもと共に考えることが大事だ。

## ◆先達の教え① 藤原正彦『国語を忘れた民族は滅びる』

- 2023年度の高校国語教科が「文学国語」と「論理国語」に分けられる。論理国語導入の背景には、PISAのテストがある。(このテストをやっているのはOECD、国際的経済組織。目的は、企業戦士をつくるにはどうしたらよいかにある。)
- 教育の目的は企業戦士をつくることではなく、人間をつくることにある。学校教育、とくに初等教育、中等教育では、美しい詩や童話、小説を読んで涙を流せる感性を培うことが圧倒的に重要だ。
- 向こう(西洋)が日本の教育を取り入れようとしている時に、こちら(日本)は欧米の失敗を真似ている。
- 私たち人間は、何かを思考し、それを言葉で表現する。逆に言葉を使って考えを整理していく。それには何よりも語彙が大切になってくる。「あの先生、チョーむかつく」と話している中学生の会話に耳を傾けていると、その語彙は百語から二百語くらい。ということは、百か二百くらいの思考しかないということだ。
- 元在タイ大使の岡崎久彦
  - ・「外交官として最後にものをいうのは、教養と人間性だ」
  - 「議論とか手腕とかではない。むしろ日本の文学や歴史をよく知っているか、誠実さ、ユーモアを含めた人間性が外交の鍵を握る。」
- 祖国に対する深い誇りや自信は、普遍的価値の中から生まれる。自分たちの言語を大切にすることは重要なこと
- 日本が抱えるすべての問題は教育に集約される。しかし、読書力がなから教養が身につかず、間違った情報に翻弄されてしまっている。
- 日本人の素晴らしい情緒を培ってきた国語を取り戻して、この国難を乗り越えるべきである。



- ♥ 新田次郎、藤原ていの子どもである正彦氏。辛口の論で有名だが、日本人の矜持をこれほど大事に考えている人はいないだろう。失われた大事を取り戻そうという一事ははぶれていない。「日本の文学や歴史をよく知っているか、誠実さ、ユーモアを含めた人間性が外交の鍵を握る」と言い切っているように、小手先の議論や手腕は問題ではないと言うのだ。英語が話せるようにと言って技術、技能ばかりを高めようとしても駄目。自国の文化、歴史を知らなければ正しいこと、含蓄のあること、真実を伝えることはできないというのだが、最もなこと。

また、「日本が抱えるすべての問題は教育に集約される」この言葉を今一度かみしめ

て、原点に戻って教育の本質を見極めなければならないそんな時期が今だと思う。

## ◆先達の教え②

○1961年、アメリカ第35代大統領、ジョン・F・ケネディの就任演説

「国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、  
あなたが国のために何をなすことができるのかを問うてほしい」

※国に自分の権利を要求するのではなく、国に対して国民としての義務の実践を訴えた。

- ♥ 大きなことを言うようだが、今の日本に一番欠落しているのではないだろうか。日常生活や教育問題等の解決に当たっては、すべてが「あなた頼み」の状況が著しい。そう思っているのは私独りがも知れない。ここにも、大人として「内から育っているかどうか」を問われていると思うが如何。何でも国や自分以外の人がやってくれるという「依存」病に掛かってはいないだろうかと問うていると思うのだが。悲観的に見るのではなく、今が自立のチャンスだととらえることも必要であると思うのだ。

## ◆ある言葉に触れて

待つといふ 一つのことを教えられ われ髪白き老に入るなり

(片山広子)



- ♥ 「待つ」ということは、私たちの最もできないことの一つである。私とその境地にたどり着いたということで、共感して掲げたのではない。いかに「待つ」ということが簡単なようでいて、難しいことだという感慨が自分に近く感ぜられたからだ。

「待つ」ということは、教えられて身につくことではない。作者は白髪になる時期にようやく待つことの意義が分かったようだ。しかし、現実の私はなかなか思うに任せない。あと数秒待てば、子どもや相手からいい反応が得られたのにという苦い経験が山ほどだ。余裕がないのかも知れない。

現代は人間同士のかかわりにおいても、予定や期待や希望はできるだけ早く実現されなければならないかのように迫られている。それに対して「待つ」という一つのことを作者は教えられたという。「なくてはならぬ唯一のもの」を教えられたのだ。「待つ」ことは、よりよく生きることに繋がるという。含蓄のある大事な言葉、大事な姿勢である。

## ◆ちよつと立ち止まって「内から育つ」姿を求めて※最近の教育関係の様子、新聞、胸ぐらの子どもの様子、資料

○通勤途中の風景

s ある日、いつもの朝と違い、校庭から賑やかな声が響いてきた。3～4年生らしき児童たちがいつもの倍以上の人数でサッカーに興じているのだった。いつもは7人ほどで、興じているのに今日はどうしたのだろうと、立ち止まってみると原因が分かった。担任の先生が一緒になって声を出しながら、サッカーボールを追っていたのだ。次の週の朝は担任はおらず、いつもの子どもたちの遊びが展開されていた。

- ♥ ただこれだけの事だが、私には教師に成り立ての頃の校長の言葉が思い出されてきたのだった。「とにかく子どもと一杯遊べ。」と。理屈ではなく、子どもを理解するには子どもと同じ事をするのが一番の近道だとの教えであったのだろうと思う。しかし、若い私は、若いから、子どもに年齢が近いから、子どもに近づくには一緒に遊ぶのが一番いいと言っているんだと単純に思っていた。

「子どもの気持ちを知る」ことは難しい。しかし、一緒に行動することで、何を考えているかをつかむことはできる。

ここに内から育つ子どもを育むヒントがあるように思う。古くて新しい学びである。

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	水	14:00	社会教育委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、社会教育課
2	木	9:30	市内校長会[赤穂東小学校]	教育長、次長、両課長
		13:30	園長会[保健センター第1会議室]	子ども課
3	金	9:00	議会全員協議会(予定)[第5会議室]	教育長、次長
		13:30	用務員連絡会[南庁舎大会議室]	教育長、子ども課
		15:00	図書館協議会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
4	土	11:00	日本現代工芸美術長野会展ギャラリートーク(木下五郎氏)[博物館]	社会教育課
5	日			
6	月	10:00	6月議会開会[議場]	教育長、次長
7	火		一般質問ヒヤリング	
8	水	9:30	おかゆポット等贈呈式[応接室]	子ども課長
9	木			
10	金		民児協	子ども課長
11	土		郷土芸能まつり(収録)	
12	日		郷土芸能まつり(収録)	
13	月			
14	火			
15	水	9:30	子育てサポーター講座開講式	子ども課
		10:00	特別支援教育推進委員訪問[教育長室]	教育長、次長、子ども課
		13:00	長野県社会教育委員連絡協議会 総会・講演会(リモート)	社会教育課
		15:30	特別教育支援員連絡会[南庁舎大会議室]	教育長、子ども課
16	木	10:00	一般質問[議場]	教育長、次長
17	金	10:00	一般質問[議場]	教育長、次長
18	土	14:00	駒リブ講演会「小林勇の1945年」講師 今井康之氏[赤穂公民館]	社会教育課
19	日			
20	月		委員会	
21	火		委員会	
22	水			
23	木			
24	金		6月議会閉会[議場]	教育長、次長
25	土			
26	日	14:00	駒ヶ根子どもオーケストラ伊那フィル演奏会参加[伊那文化会館]	社会教育課
27	月	15:30	不登校児童生徒支援委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
28	火	15:30	定例教育委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課長
29	水			
30	木			

曜日	時刻	事業内容	摘要
1	金	10:30 市政施行記念式典[本庁大会議室]	
		13:30 部課長会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課長
		園長会[保健センター第1会議室]	子ども課
2	13:30	社会を明るくする運動・青少年健全育成伊南地区研修会[赤穂公民館]	福祉課、社会教育課
3			
4	月	12:30 上伊那市町村教委連絡会及び研修会[宮田村]	教育長、教育委員、次長
		諏訪・上伊那地区社会教育委員会総会・合同研修会[伊那市]	社会教育課
5	火	10:30 南部市町村教委代議員会[南庁舎大会議室]	教育長、教育長代理、次長
6	水	9:30 校長会[赤穂南小]	教育長、次長、両課長
7	木	14:00 県青少年補導委員会・補導センター研修会[リモート]	社会教育課
		18:00 県教委との懇談会[伊那合庁]	教育長
8	金	10:00 特別支援教育推進員訪問[教育長室]	教育長、子ども課
9		9:30 上伊那教育長部会[伊那市]	教育長
10	月		参議院選挙投票日
		9:00 市民総体ホッケー体験会[ふるさとの丘]	
11	月	10:00 都市教育長会議[飯山市]	教育長、子ども課長
12	火		決算審査(子ども課・社会教育課)[第5会議室]
		19:00 第2回二十歳を祝う会実行委員会[]	社会教育課
13	水		県市町村教委連絡協議会代議員会[長野市]
14	木	15:30 第1回就労支援委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
15	金	15:00 部活動地域移行県教委説明会[南庁舎大会議室]	教育長、子ども課
16		10:00 ハッチョウトンボ観察会[南割公園]～17日	社会教育課
17			市民総合体育大会
18	月		
19	火	15:00 かつば広場運営委員会[かつば館]	教育長、社会教育課
20	水		
21	木	15:00 子ども・子育て会議[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
22	金	18:30 スポーツ推進審議会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、社会教育課
23		13:30 公民館協議会 平和講座(消費開拓回)	社会教育課
24			市民総合体育大会(予備日)
25	月		臨時市議会(予定)[議場]
26	火	14:00 要保護ネットワーク会議[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
		15:00 いじめ問題対策連絡会議[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
27	水		
28	木		
29	金	14:00 子育てサポーター講座閉校式[南庁舎大会議室]	子ども課
		14:00 定例教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
		15:30 総合教育会議[南庁舎大会議室]	教育長、教育委員、次長、両課長
		PM 中学校北信越ホッケー大会[赤中] ～31日	社会教育課
30			
31			

## 8月分 教育委員会事務事業計画

2022年6月27日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	月			
2	火		園長会[]	子ども課
3	水	14:00	市教職員夏期研修会[赤穂公民館]	教育長、教育委員、次長、子ども課
		18:30	人権教育推進協議会委員会[赤穂公民館]	教育長、次長、社会教育課
4	木			
5	金	13:30	市町村教委と県教委との懇談会(リモート)	教育長、教育長代理
6				
7			県知事選挙	
8	月			
9	火			
10	水			
11				
12	金			
13				
14	日			
15	月	10:00	二十歳を祝う会[文化会館]	教育長、教育委員、次長、社会教育課
16	火			
17	火			
18	木			
19	金	13:30	光前寺庭園活用委員会[光前寺]	教育長、社会教育課
20				
21	日			
22	月			
23	火	14:00	定例教育委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課長
24	水			
25	木		地域ぐるみで子どもを育てるフォーラム[いなっせ]	社会教育課
26	金		議会全員協議会(予定)	
27				
28	日		地震総合防災訓練	理事者、全職員
29	月			
30	火		9月議会開会(予定)	
31	水	9:30	市内校長会[中沢小]	教育長、次長、両課長

## 駒ヶ根市立赤穂東小学校学校運営協議会委員の任命について

駒ヶ根市学校運営協議会規則(平成25年教育委員会規則第3号)第7条の規定に基づき、下記の者を赤穂東小学校学校運営協議会委員に任命する。

令和4年6月28日  
駒ヶ根市教育委員会  
教育長 本多 俊夫

## 記

## 1 氏名等

氏名	住所	備考
佐野 榮	■■■■■■■■■■	会長
西尾 芳信	■■■■■■■■■■	町2区区長
北澤 英昭	■■■■■■■■■■	町3区区長
梶田 廣文	■■■■■■■■■■	町4区区長
戸枝 慶二	■■■■■■■■■■	下平区区長
原 正彦	■■■■■■■■■■	元学校評議員
田中 久夫	■■■■■■■■■■	元学校評議員
池口 美紀子	■■■■■■■■■■	元学校評議員
村上 崇子	■■■■■■■■■■	元学校評議員
小出 ちせ子	■■■■■■■■■■	民生児童委員
田中 篤	■■■■■■■■■■	PTA会長
松崎 哲也	■■■■■■■■■■	PTA副会長
田中 智恵	■■■■■■■■■■	PTA副会長
丸山 久美	■■■■■■■■■■	学校支援ボランティア代表
平 賀 清	■■■■■■■■■■	学校支援ボランティア代表
榎本 繁樹	■■■■■■■■■■	学校支援ボランティア代表
中上 昭夫	■■■■■■■■■■	学校支援ボランティア代表
小林 四郎	■■■■■■■■■■	学校支援ボランティア代表
吉川 大吉	■■■■■■■■■■	学校支援ボランティア代表
吉越 秀之	駒ヶ根市立赤穂東小学校	校長

※ゴシックが新たに任命する委員

- 2 任命年月日 令和4年6月1日  
3 任期 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで(残任期)

令和4年度 一般会計補正予算(第4号)の概要

【一般会計補正予算(第4号)予算規模】 156,721千円 (14,973,423千円 ⇒ 15,130,144千円)

令和4年度 一般会計補正予算(第4号)

(単位:千円)

【歳出】

区名	区分	内容	補正額				
4	子ども 新規	子宮頸がんワクチン任意接種補助 子宮頸がんワクチンの接種にあたり、積極的勧奨を差し控えた時期に定期接種年齢を超えてしまい、自費で接種した人を支援します。 事業概要 (単位:千円) H25からR3までの間に、定期接種年齢(17歳以上)を超えてしまい、自費で接種した人(H9.4.2~H18.4.1生まれ) 541 接種@16,690円×3回×10人、予診@2,200×3人文書料@3,300円×10人 実施時期 6月からキャッチアップ接種※に合わせ広報及び申請受付 ※「キャッチアップ接種」…H9.4.2~H18.4.1生まれの女性で定期接種の機会を逃した人またはワクチン接種を合計3回受けていない人は、R4.4~R7.3までの3年間、公費で接種が受けられる。(H25~R3積極的接種差控による)	補正額 541 特定財源 一般財源 541				
		6	子ども コロナ	小中学校校外活動バス利用補助 感染予防を図りつつ校外活動を本格化するにあたり、密を避けて移動し安心して活動が行えるよう、民間バス等の借上げの費用を追加で計上します。 事業概要 (単位:千円) 半日もしくは1日を目途に行う校外活動への移動補助(81回分) 昨年度までの市バス等の利用実績及び今年度予定より積算 事業費の積算(補助金) 大型バス 498 @83,000円/1日×6回 3,025 @60,500円/半日×50回 中型バス 432 @72,000円/1日×6回 1,045 @55,000円/半日×19回 合計 5,000千円	補正額 5,000 特定財源 国支出金 5,000 一般財源 0 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(補助率10/10)		
				7	子ども	赤穂南小学校体育館屋根改修 赤穂南小学校体育館の雨漏りへの早急対応として、屋根南面全体の葺き替えを行い、建物の長寿命化を図ります。 事業概要 (単位:千円) カバー工法(鋼板横葺き、670㎡)、既設太陽光パネル撤去・設置 3~4ヵ月見込 ※工事期間中の体育館使用は通常どおり 1,000 (委託料)設計500、監理500 34,100 (工事請負費)本工事30,940、消費税3,160 合計 : 35,100千円	補正額 35,100 特定財源 市債 31,500 一般財源 3,600 公共施設等適正管理推進事業債



令和3年度翌5月分保育料徴収実績表

駒ヶ根市教育委員会 子ども課

令和4年5月31日現在

(単位:円)

区分	項目	予算額 (A)		収入額等			徴収率			前年度収入金額・比較 (C/D %)		予算執行率 (C/A %)		
		当月	累計 (B)	当月収入額	累計収入額 (C)	不納欠損額	収入未済額	現年分 (C/B %)	前年同期 (%)	比較 (point)	前年度前年同期		前年同期 (D)	
保育園	保育所運営費負担金(公立分)	0	44,152,570	-79,180	44,120,310		32,260	99.93%	98.92%	1.01	34,847,920	34,471,270	127.99%	84.49%
	保育所運営費負担金(私立分)	0	11,641,630	-31,200	11,641,630		0	100.00%	99.48%	0.52	9,703,330	9,652,630	120.61%	92.70%
	長時間保育料	0	2,845,200	2,845,200	2,825,750		19,450	99.32%	99.17%	0.15	2,397,290	2,377,340	118.86%	103.89%
	保育所運営費負担金(補助金)	0	0	0	0		0				0	0		0.00%
現年度分	現年度分計	0	58,639,400	2,734,820	58,587,690		51,710	99.91%	99.05%	0.86	46,948,540	46,501,240	125.99%	84.64%
過年度分	過年度分計	0	1,931,050	0	122,100		1,808,950	6.32%	18.18%	▲11.86	2,354,210	428,060	28.52%	32.73%
幼稚園	副食費現年度分	0	1,684,950	-2,400	1,684,950		0	100.00%	99.09%	0.91	1,652,640	1,637,640	102.89%	86.67%
	長時間保育料	0	160,300	0	160,300		0	100.00%	99.86%	0.14	104,150	104,000	154.13%	172.37%
	過年度分	0	602,409	0	3,000		599,409	0.50%	4.79%	▲4.29	626,409	30,000	-10.00%	3.37%
	現年度分計	0	2,447,659	-2,400	2,448,210		599,409	51.50%	43.7%		2,385,191	1,771,640	104.3%	86.94%
幼保計	現年度分計	0	60,484,650	2,732,420	60,432,940		51,710	99.91%	99.05%	0.86	48,705,330	48,242,880	125.27%	84.61%
	過年度分計	0	2,533,459	0	125,100		2,408,359	4.94%	15.37%	▲10.43	2,980,619	458,060	27.31%	27.08%
	合計	0	63,018,109	2,732,420	60,558,040		571,069	96.31%	95.42%		51,685,949	48,700,940	124.35%	86.44%

## 令和3年度 学校給食費収納状況

令和4年3月31日 締め

## ○赤穂学校給食センター

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現年度分	R2年度	121,296,333	121,296,333	0	0	100.00%	0
	R3年度	129,266,741	129,266,741	0	0	100.00%	0
	前年対比	7,970,408	7,970,408	0	0	0.00%	0

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
過年度分	R2年度	5,447,362	389,599	0	4,857,823	16.33%	22
	R3年度	4,557,823	339,109	0	4,218,714	7.44%	20
	前年対比	-889,539	-550,430	0	-339,109	-8.89%	-2

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現・過合計	R2年度	126,743,695	121,835,872	0	4,557,823	96.40%	22
	R3年度	133,824,564	129,605,850	0	4,218,714	96.85%	20
	前年対比	7,080,869	7,419,978	0	-339,109	-0.46%	-2

## ○竜東学校給食センター

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現年度分	R2年度	26,096,061	26,096,061	0	0	100.00%	0
	R3年度	27,373,422	27,373,422	0	0	100.00%	0
	前年対比	1,277,361	1,277,361	0	0	0.00%	0

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
過年度分	R2年度	3,425,864	107,155	0	3,318,209	25.19%	2
	R3年度	318,209	103,453	0	216,453	31.98%	1
	前年対比	-107,155	-5,399	0	-101,756	-6.79%	-1

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現・過合計	R2年度	26,521,425	26,203,216	0	318,209	98.80%	2
	R3年度	27,691,631	27,476,875	0	216,453	99.22%	1
	前年対比	1,170,206	1,271,962	0	-101,756	-0.42%	-1

## ○両センター合計

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現・過合計	R2年度	153,265,120	148,389,088	0	4,876,032	96.82%	24
	R3年度	161,516,195	157,081,028	0	4,435,167	97.25%	21
	前年対比	8,251,075	8,691,940	0	-440,865	-0.43%	-3

## R4.7. 定例教育委員会報告 行事共催等承認申請一覧(専決分報告)

区分	申請番号	行事の名称	団体名	開催日	開催場所	承認
後援	4-033	古裂いな猫たちの日々2021	とらきち工房	令和4年8月1日(月)	旧竹村家住宅	承認
後援	4-034	小さくても心に響く花火大会 in 駒ヶ根かっぱ広場	駒ヶ根魅力発信プロジェクト	令和4年8月14日(日)	天竜かっぱ広場	承認
後援	4-035	第65回中部日本吹奏楽コンクール 高校部門 長野県大会	長野県高等学校文化連盟吹奏楽部会	令和4年9月3日(土)	駒ヶ根市文化会館	承認
後援	4-036	第13回林和男杯野球大会 兼 信越連盟45周年記念大会	駒ヶ根リトルシニア	令和4年7月23日(土)	駒ヶ根アルプス球場	承認
後援	4-037	長野県書道展伊那地区展	長野県書道協会伊那支部	令和4年9月16日(金)	伊那文化会館	承認
後援	4-038	駒ヶ根三十六景フォトコンテスト (第4回)	こまがね市民活動支援協会	令和4年7月1日(金)	こまがね市民活動支援センター	承認
後援	4-039	「ぼっちゃ」大会	駒ヶ根ぼっちゃクラブ	令和4年8月28日(日)	農業者トレーニングセンター	承認

共催 0 件  
後援 7 件  
協賛 0 件  
7 件

承認 7 件  
不承認 0 件  
協議中 0 件  
7 件

令和4年度 駒ヶ根市教職員夏期研修会について

- 1 名称 駒ヶ根市教職員夏期研修会
- 2 主催 駒ヶ根市教育委員会
- 3 期日 令和4年8月3日(水)
- 4 会場 赤穂公民館講堂(収容数293席) TEL:83-4060
- 5 研修目的
  - 教職員という仕事に就いた志の原点に立ち返り、個々の今後の実践に意欲を持つ。
  - キャリアステージごとの課題を共有し、課題に向き合うヒントをつかむ。
- 6 研修内容 講演会 講師：前信濃教育会長 後藤 正幸 先生
- 7 日程
  - 12:30 (当日準備) 赤穂東小、子ども課の職員  
立看板、検温、手指消毒、受付、配布資料の設置等の会場準備  
ステージ等講演準備、控室( )準備
  - 13:30 講師ご到着
  - 13:30～13:50 受付
  - 14:00 開会行事
  - 14:10～15:50 講演(質疑応答)
  - 15:50 閉会行事
  - 16:00～ 講師接待(謝礼：教育長)  
片付け
- 8 組織
  - 研修会会長 本多 俊夫 教育長
  - 総務 北澤 英二 教育次長 赤羽 知道 子ども課長  
水野 毅 学校教育係長 山田 賢二 子育て家庭教育係長  
寺本 聡美 学校教育係 滝澤 拓也 学校教育係  
加藤 和幸 指導主事 竹村 勝 指導主事
  - 各小中校長
  - 実行委員会 実行委員長 吉越 秀之(赤穂東小校長)  
副実行委員長 竹松 寿寛(赤穂中校長) 次年度当番校  
事務局長 清水 ひろみ(赤穂東小教頭)  
副事務局長 保科 功(赤穂中教頭) 次年度当番校

令和4年度 上伊那市町村教育委員会連絡協議会  
総会並びに研修会開催要項

その他(2)

宮田村教育委員会

- 1 趣 旨 市町村教育委員相互に連絡協調を図り、教育行政に関する諸問題について研修し、地方教育行政の円滑な運営と進展に資し、もって教育の発展向上に寄与する。
- 2 主 催 上伊那市町村教育委員会連絡協議会
- 3 主 管 宮田村教育委員会
- 4 参加者 上伊那市町村教育委員、教育長及び教育委員会事務局担当者
- 5 期 日 令和4年7月4日(月)
- 6 会 場 宮田村村民会館
- 7 日程及び内容
  - (1) 総 会
    - ① 会 場 宮田村村民会館大ホール
    - ② 受 付 12:30 ~ 12:50
    - ③ 総 会 13:00 ~ 13:50 (50分)
      - 開会行事
      - 報告等
        - ・ 令和3年度事業及び決算報告
        - ・ 令和4年度事業計画及び予算
        - ・ 役員の選任報告
        - ・ 新任教育委員紹介と挨拶
        - ・ 次期開催地紹介
  - (2) 研修視察 14:00 ~ 16:50
    - ① 「向山雅重 民俗資料館」 (村民会館内)
    - ② 日本聴導犬・介助犬訓練士学院によるデモンストレーション (村民会館大ホール)
    - ③ 本坊酒造担当者によるウイスキーセミナー (村民会館第3・4・5研修室)
  - (3) 情報交換会 17:00 ~ (村民会館第3・4・5研修室)
    - ① 個々に折詰をご用意致します。飲食代は自己負担です。(4,000円~5,000円の予定)
- 8 参加申込 別紙名簿にて上伊那市町村教育委員会連絡協議会事務局まで、E-MailもしくはFAXにて、申し込みください。(期日:6月22日必着)
- 9 その他 新型コロナウイルスの感染状況によっては、情報交換会を中止する場合があります。

## 2 物価高騰に伴う学校給食費の補助は

【子ども課】

(市長)

- (1) 物価高騰に伴う、学校給食費の質を維持し、新たな保護者負担を回避するためにも、食材値上がり分を公費負担するとともに、更に保護者の給食費負担を軽減させる施策を拡大させる考えは。

## 1 子どもの育成をずる団体への助成に対する方針は

【子ども課・社会教育課】

(市長)

これからの人口減少を現実と踏まえ、少ない子供をどのように導き育てていくかの取り組みも重要である。子ども・子育て支援事業計画の取り組みを検証する。

- (1) 文化、スポーツ、生活体験を子どもと共に育成する団体や企業へ助成を行い、行政と連携を。  
 (2) 子どもを社会が育てる駒ヶ根市を大きな柱としてPRすべきだが見解は。

## 2 ヤングケアラーの実態をどのように捉えているか

【子ども課】

(市長)

国では、子ども庁新設の動きがあり、ヤングケアラーの課題にも取り組んでいく。

- (1) 当市の実態を早めに捉え、必要な施策を国等へ提言していくべきだが実態と対応への見解は。

## 2 高校再編に向けた市長、駒ヶ根市の考えはあるか

【子ども課】

(市長)

- (1) 令和2年9月に当市議会が提出した「上伊那伊南地域の高校再編に関する意見書」では学区内進学率が70%以上となるよう伊南地域に質の高い高校を設置する再編とすること」とある。

また、令和元年9月に、出された「上伊那地域の高校の将来像について」には、上伊那地域の県立高校の課題として、旧第8通学校の県立高校は他の通学区の中学生から進学先として選択されにくい傾向がある」と指摘されている。  
 流出の現状はどうなっているのか、市として原因、その対策をどう捉えているのか。

- (2) 高校再編に向けた公立高校の魅力を高めることへ考えはあるか。  
 (3) 令和3年9月市議会での中原議員へ答弁した伊南4市町村の関係者との連携は。  
 また、4市町村長との連携は

## 2 ヤングケアラーの実態調査の進捗状況と今後の取り組みは

国の調査では中学生で17人に1人の割合で「世話をする家族がいる」と回答。将来を担う若い世代の生活や家庭、心の支援が急務である。

【子ども課】

(教育長)

- (1) ヤングケアラーの実態把握の進捗状況は。
- (2) 理念条例(ケアラー支援条例)を制定し、家庭・学校・行政が連携して実態を把握し一人も取り残さず窮状を救う取り組みは。

## 3 馬住ヶ原ホッケー会場の人工芝化の影響と課題は

【社会教育課】

(市長)

- (1) 環境ベンチャー企業「ピリカ」の2019年調査で全国の河川・港湾等100の内、9.8地点で微細プラを確認。その14%が人工芝由来であると。海洋と接する磐田市やかほく市と姉妹提携し、又、SDGsを推進する市として、マイクロプラスチックの発生の可能性が高い砂入り人工芝ホッケー場を建設し、将来永続的に使用することへの見解を質す。
- (2) 兵庫県西宮市の住友ゴム人工芝施設では人工芝の破片や下敷きの黒いゴムチップの排水溝流出を確認。3重のフィルターにより流出を防止と。先進事例の研究、環境アセスの実施、設計見直し等が必要では、見解を。

## 1 原油価格、物価高騰から市民生活を守る対策は

【子ども課】

(市長)

- (1) 子育て世帯への支援策として、学校給食費の新たな保護者負担を回避し、給食の質も維持するための負担軽減策は。  
(前日の竹村蒼議員の答弁によっては質問しないこともある)

## 2 若者の声をまちづくりに反映するには

【総務課・企画振興課】

(市長)

- (1) 市長として子ども議会、中学生議会などについてどう感じているか。
- (2) 今後、市として取り入れる仕組みなど考えていくことはあるか。

## 3 小中学校のトイレの洋式化の現状と今後の計画は

学校施設の環境整備について

【子ども課】

(市長)

- (1) 市内小中学校トイレの洋式化の現状は。
- (2) 今後3か年計画などへの位置づけは。

## 1 小・中学校プールの現状と課題解決策は

(教育長)

### 【子ども課】

- (1) 市内小中学校プールの現状と課題をどうとらえているか。  
県内自治体でも、水泳事業の民間委託が始まっている。老朽化した施設の維持管理、教員の負担軽減、また、民間のプール利用することで天候に左右されず、専門のインストラクターによる指導受けられる等のメリットがあると考えられる。  
本市としても、民間委託の検討を始めるにあたり、まずは経費の試算等から始めるべきと思うがいかがが。
- (2) 全国ニュースで話題となった「プールの水を出しっぱなし問題」について、本市の学校プールの水管理の現状と、方が一同じような事故が起こった時の対応方法は。
- (3) 市民プールが無くなり、すずらん公園のかっぱ噴水では飽き足りない(遊べない)、小・中学校高学年・中学校年代の子どもが夏休みの学校プールを楽しみにしている。  
しかし教員、PTAの負担増から縮小の動きがあると聞か、何らかの支援策を講じてこれまでのように実施できないか。

## 2 発達に特性のある子どもと親のサポート

(教育長)

### 【子ども課】

- (1) 発達に特性がある子どもの親の会が実施するミーティングの場所代、学校にいけない特性のある子どもへの性教育の講師代等の支援など希望に応えることは。
- (2) WISC-5 検査への一部支援はできないか。
- (3) 学校現場で発達特性のある子どもへの理解を深めてもらうための教師への研修費用への支援は。
- (4) 集団が苦手な子どもたちの学校での居場所と適切な職員配置、また、学校以外での居場所(前回質問したサードプレイス)の必要性について再度尋ねる。
- (5) 不登校や行き渋りの子どもたちへの対応マニュアルは。

## 1 小中学校教員の労働環境は

地域の子どもたちにより良い学習環境を整備することは重要である。全国的に小中学校教員の過酷な勤務状況や教員不足など、教職員の労働環境が話題となっている。本市での現状は。

(教育長)

### 【子ども課】

- (1) 小中学校教員の労働環境の現状と課題は。また、事務職員の充足率は
- (2) 教職員の負担軽減への取り組みは。
- (3) 中学校における休日の体育系部活動が、次年度から随時地域に移行される計画がある。準備体制は。